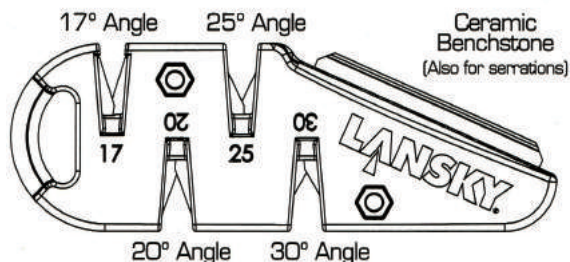


Multi-Angle
QuadSharp™



マルチアングルクワッドシャープ

ナイフのメンテナンスにはランスキーのシャープニングシステムの使用をお勧めいたしますが、限られたフィールドではランスキーのフルセットを持ち運ぶこともたいへんです。そこで、ランスキーシャープニングシステムをひとまとめにしたのが、このクワッドシャープです。グワッドシャープのタングステンカーバイトでできたV字の溝に差し込み、3-4回引くだけでナイフのシャープさが戻ります。そしてセラミックのベンチストーンでポリッシュすることでナイフのメンテナンスが完了します。

1.タングステンカーバイトの角度 17° 20° 25° 30°

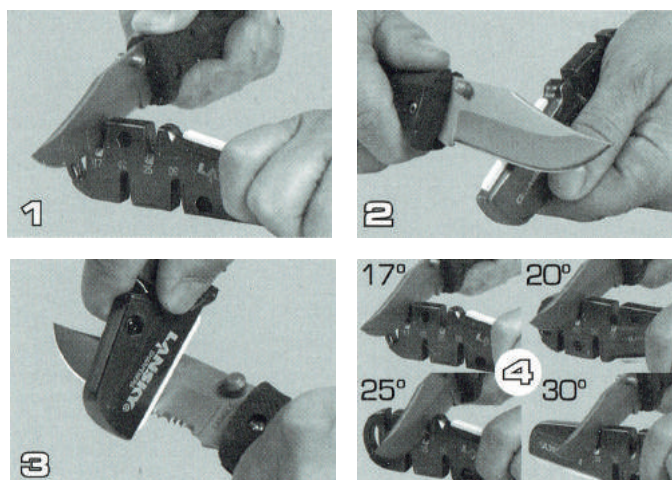
全く立っていない刃や刃を素早く立たせる時に使用します。あなたのナイフの仕様にあわせて角度を選んで下さい。詳細は角度の選択を参照して下さい。

ノート：タングステンカーバイトは大変硬度がありどんな素材のブレードでも引っ掛かりが良く削ってしまいます。素早く刃を起す用途のみご使用下さい。通常はセラミックベンチストーンでタッチアップを行って下さい。

利き手でナイフを持ち、もう一方の手でクワッドシャープを持ちます。4つの角度から適切な角度を選び、少し力を入れて3-4回引きます。これで刃がシャープニングされます。その後ブレードを軽く水ですすぎ金属屑を拭き取って下さい。クワッドシャープの持ち方は図4を参考にして下さい。

2.セラミック ベンチストーン

中砥800のセラミックがインストールされています。通常のベンチストーンとして以外にもブッチャースチールとしても使用できます。セラミックベンチストーンはスチールよりも硬く決して削れることはありません。頻繁にナイフ使用している時のブレードのタッチアップに最適です。またセラミックベンチストーン形状が山型のテーパーがあり波刃のタッチアップにも使用できます。図3参照



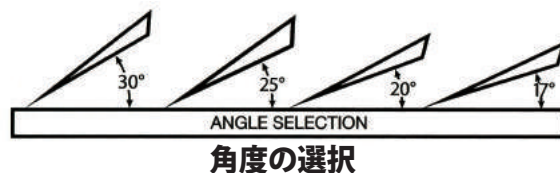
プロヒント

刃が全く立たなくなったナイフはセラミックでのタッチアップの前にタングステンカーバイトでのシャープニングを先に行ってください。

セラミックベンチストーンは使用していると表面が黒ずんできます。その時はランスキーレーザーブロック（別売）を使用してクリーニングして下さい。

3.波刃のシャープニング

図3のようにベンチストーンを波刃の溝に当て引いてください。ベンチストーンの幅より大きい波刃の場合はみぞに合わせ弧を描くように引いてください。波刃の数だけそれを繰り返して下さい。



角度の選択

- 17度：カミソリ刃、X-アクト刃、またはその同様の刃にだけ向いています。大変鋭利な刃でデリケートな刃を研ぎ出します。
- 20度：高品質の刃に通常使われます。大変素晴らしい切れ味を演出します。台所包丁に理想的です。
- 25度：通常のナイフ向きです。狩猟やアウトドアナイフには理想的です。
- 30度：ダンボール、針金、カーペット切断用のヘビードューティーなナイフ向きです。

注意

ナイフを砥ぐという行為（作業）は非常に危険な作業です。シャープナーはあなたを傷つけません。しかし、ナイフの取扱い時、特にブレードや先端の尖った部分は大変危険ですので取扱いには十分気を付けて下さい。